

「ベトナム侵略やめよ」「沖縄を返せ」。たたかいは、今に続く。



日本共産党北区議員
さがらとしこ
区政レポート
日本共産党議員団
2022.5.12.No.1867.
TEL とも 3905-0970
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

映画「ローマの休日」など
数多くの作品を残された、
オードリー・ヘプバーンさん。
AUDREY
MORE THAN AN ICON
映画が上映されています。

◎ この中では、晩年はユニセフの親善大使として熱心に活動されていた姿に胸をうたれました。そして、オードリー・ヘプバーン自身が、戦争の体験者であり、飢えに苦しんだ子ども時代。
◎ 当時設立された国連の国際児童緊急基金(現在のユニセフ)の食料配給で命を救われたという体験が、晩年のユニセフ大使としての活動につながったのですね。

赤羽西口マロニエの花の下で 5月3日

平和のためのリレートーク



75回目を迎えた憲法記念日。3年ぶりに憲法守れの中央集会が開かれました。私たちは、赤羽西口マロニエで、「私も一言、リレートーク」をしました。
9名の方がお話しされましたが、その中からご紹介します。

日本の侵略の歴史も忘れなぞ学んでください。

◎ 私は1941年生まれ。日本軍がハワイ真珠湾を攻撃し、太平洋戦争開始となった3か月前のことです。
日本軍国主義は、明治時代から日清戦争、日露戦争へ、そしてオオ次大戦、オオ次大戦へと、戦争を拡大していった。
憲法は、その反省の上につくられたものです。二度と戦争はしないよ。
青年のみなさん、ぜひ、歴史を学んで下さい。私も、この憲法を大切にがんばります。

(父が戦争に。ちと帰ることができた父でしたが、子どもたちには話したがりななかった。)

◎ 私も80歳です。父は戦場がどんなところだったのか、言葉せなかったんだと思います。きっと、今のウクライナのようなところなのでしょうね。
戦争は、絶対にいけないことです。

(車イス生活の私は、ウクライナの国の中で、障害や病気のあつた。子どもたちのことが心配。)

◎ 戦争は、あらたな差別を生む。早くやめてほしい。声を上げなければ。

新型コロナワクチン・4回目接種等について

4月28日、厚生労働省から都、区に対して追加接種(4回目接種)体制確保に関する事務連絡がありました。これを受けて北区は、5月10日に対策本部としての対応を公表(HP)しました。医師会などとの協力連携して体制を確保するとしています。HRの資料の中から、
〈接種にあたっての今後の予定〉など、お知らせします。

5/13(金) 高齢者向け接種勸奨はがきの発送

▶ 5/20(金) 「北区ニュース」(20日号)で、周知と案内(ざらん下さい)。
5/25 4回目接種券の発送開始 5月末から4回目接種開始

(3) 接種券の発送

国の方針に従い、3回目接種から5か月を経過する60歳以上の者に順次発送する。最初の発送は12月及び1月に3回目接種を行った者を対象に、5月25日を予定している。なお、今後の発送スケジュールについては下表のとおり。

基礎疾患を有する者等の接種券について、現時点では被接種者からの事前申請による発行を検討している。

【今後の発送スケジュール】

発送時期	接種開始時期	発送件数	対象者	3回目接種時期
5月25日	5月の該当日から	約 700	3回目接種をした60歳以上の方	令和3年12月
	6月の該当日から	約 14,000		令和4年 1月
6月下旬	7月の該当日から	約 56,000		2月
7月	8月の該当日から	約 14,000		3月
8月	9月の該当日から	約 3,000		4月

(4) 接種の予約

これまでと同様に、コールセンター、webサイトから予約する方法で実施するほか、かかりつけクリニックなど直接予約が可能な医療機関にて受付を行う。なお、3回目接種開始時と同様、高齢者等のデジタルデバイス対策として、予約支援窓口を下記区民施設(8か所)に6月1日より開設する。

区役所第一庁舎、赤羽会館、滝野川会館、豊島高齢者あんしんセンター、浮間区民センター、上十条区民センター、滝西区民センター、桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター、

「戦争犯罪」の拠点に

2022.5.12 「さざりし」 NO.1867

「沖縄をへしてベトナム戦争を続けることはできない」
 (1965年12月、チャープ米太平洋軍司令官(当時))
 米軍占領下の沖縄は、ベトナム侵略戦争(75年終結)
 最大の出撃・兵たん拠点でした。200万人もの民間人が
 殺されたこの戦争は、ロシアのウクライナ侵略と同様の
 「戦争犯罪」です。沖縄の本土復帰50年を前に、最前線
 取材してきた写真家・石川文洋さんに聞きました。

(竹下岳)

2022.5.11 「Lashit」 10th

ウクライナでのロシア軍による民間人虐殺が世界に衝撃を与えましたが、国家総動員の現代戦では、民間人を傷つけて相手の戦意を喪失させるのは軍事戦略の基本です。日本も中国で、民間人への無差別攻撃をやっていたわけですから。

バイデン大統領はプーチン大統領を「戦争犯罪人」と呼びました。その通りです。でも、その定義に従えば、ベトナム戦争を拡大してきたジョンソン大統領もニクソン大統領も「戦争犯罪人」になります。ところが、彼らは一度も犯罪者として追及されませんでした。

村焼く戦闘機

沖縄 復帰50年

いしかわ・ぶんよう
 1938年、沖縄県首里市(現那覇市首里)出身。85年〜88年はサイゴンに住み、南ベトナム軍、米軍に従軍してベトナム戦争を取材。69年、朝日新聞社に入社。84年からフリー。写真集・著書に『戦場カメラマン』『写真記録ベトナム戦争』『フォト・ストーリー沖縄の70年』『ベトナム戦争と私』など多数。



ベトナム戦争最前線で取材 石川文洋さんに聞く

移動した米第3海兵師団、米本土からきた陸軍第1騎兵師団などに従軍取材しました。66年には、ビンティン省の「ベトコン(南ベトナム解放民族戦線)村」侵攻を取材しました。2機の戦闘機が爆弾を次々と投下し、ナバーム弾で村を燃やし、さらに攻撃ヘリが1分間で8000回発射できる銃で機銃掃射する…。米軍は「ベトコン1個大隊がいる」と言っていました。実際は民間人だけでした。抵抗できない住民を包囲し、上空から機銃掃射し、爆弾で焼き尽くす。これはテロです。

根底には差別

一人ひとりの米兵は、陽気で気さくな人たちです。しかし、軍隊という組織の中で、平気で人を殺せるようになる。その根底に、差別があると感じました。米兵は、ベトナム人をグーク(東洋人)と呼び、目がつり上がって黄色い肌で、人間ではない、動物と同じだとたき込まれていました。旧日本軍も、徹底的に中国人を蔑視していました。ロシア兵も、抵抗するウクライナ人は「ナチスだ」と洗脳されているでしょう。殺戮は差別から生まれるのです。

枯れ葉剤の被害も深刻です。ベトナムで枯れ葉剤の被害者取材してきましたが、すでに第4世代、ひ孫の代まで考えないといけないのは、ベトナム戦争が沖縄などにはたたかえなかったということだと思います。必死の闘い(トク)



北ベトナムとの境界(北緯17度線)の非武装地帯で作戦を行う米海兵隊=1966年(石川文洋氏撮影)

北区発行 「戦後60年 写真で語り継ぐ 平和の願い」写真集より

この写真集の中に、「北区戦争関係年表」があり、その中から、ベトナム戦争と北区とのかかわりについて紹介します。

- 明治5(1872) 赤羽台地上に陸軍の火薬庫
- 明治20(1887) 近衛工兵隊と大陸の赤羽台
- 明治24(1891) 陸軍被服廠赤羽倉庫(大正8、本廠が赤羽に)
- 昭和20(1945) 8.15. ポツダム宣言受諾し無条件降伏
- 昭和33(1958) TOD米4地区に自衛隊入所 聖堂武器補給処付与処に
- 昭和37(1962) 北区日米連絡協議会
- 昭和41(1966) アフリカ軍が地回局跡(キャンプ王子)に陸軍野戦病院建設は昭和43(1968)
- 昭和43(1968) 王子野戦病院の南所式
- 昭和46(1971) キャンプ王子が日本政府の返還
- 昭和56(1981) キャンプ王子跡に中央公園文化センター
- 昭和61(1986) 北区平和祈願堂